

第1表(1) 質問と回答 (調査票)

社会保障制度についてお尋ねします。

問1 少子高齢化が急速に進む中、社会保障制度(年金、医療、介護)を維持するために、政府では次のA、Bの二つの対応案が考えられていますが、あなたはどちらの意見に近いですか。あなたのお考えに合う番号(「1」から「5」のいずれか)に○を1つつけてください。(以下の□内の説明を読んでから設問にお答えください。)

A. 「給付維持・負担上昇」ケース		B. 「給付削減・負担維持」ケース	
医療や介護の給付水準を現状より抑えることはせずに、高齢者の増加に伴う現役世代の負担を受け入れる。 <small>(参考) 2025年度における負担と給付のイメージ* ※平成19年10月17日「経済財政諮問会議資料」の試算による</small>		医療や介護の給付水準を現状よりも抑え、高齢者が増加しても現役世代の負担が極力増加しないようにする。 <small>(参考) 2025年度における負担と給付のイメージ* ※平成19年10月17日「経済財政諮問会議資料」の試算による</small>	
①給付	高齢者1人当たりの給付は、年間約31万円の増加	①給付	高齢者1人当たりの給付は、年間約2万円の減少
②負担	現役世代1人当たりの負担(社会保険料・税)は、年間約41万円の増加	②負担	現役世代1人当たりの負担(社会保険料・税)は、年間約26万円の増加

(○は1つ)

1	2	3	4	5
Aに近い	どちらかといえばAに近い	AとBの中間	どちらかといえばBに近い	Bに近い

公的年金についてお尋ねします。

問2 わが国における公的年金の給付費総額は、今よりも引き上げるべきだと思いますか。それとも減らすべきだと思いますか。あなたのお考えに合う番号(「1」から「6」のいずれか)に○をつけてください。(○は1つ)

1	2	3	4	5	6
個人の負担(税など)を増やしても今より上げるべきだ	どちらかといえば個人の負担(税など)を増やしても今より上げるべきだ <small>(この場合、1よりは小さい負担となる)</small>	個人の負担(税など)を増やしても今と同じくらいがよい <small>(この場合、2よりも小さい負担となる)</small>	どちらかといえば今より下げるべきだ	今より下げるべきだ	わからない

問3 仮に公的年金の給付費総額を抑える場合、採用される方法について適当と考えるものはどれでしょうか。それぞれについて、あなたのお考えに合う番号(「1」から「5」のいずれか)に○をつけてください。(○はそれぞれ1つつ)

	賛成	賛とど成いちえらばか	反とど対いちえらばか	反対	いわからん
① 60歳未満の人を対象とした受給開始年齢の引き上げ	1	2	3	4	5
② 相対的に大きな負担を担ってきた高額所得者に対する年金額の引き下げ	1	2	3	4	5
③ 仕事からの収入がある人への年金額の引き下げ	1	2	3	4	5
④ 1人当たりの年金給付の下げ	1	2	3	4	5

医療保険についてお尋ねします。

問4 わが国における医療保険の給付費総額は、今よりも引き上げるべきだと思いますか。それとも減らすべきだと思いますか。あなたのお考えに合う番号（「1」から「6」のいずれか）に○をつけてください。（○は1つ）

1	2	3	4	5	6
個人の負担(税など)を増やしても今より上げるべきだ	どちらかといえば個人の負担(税など)を増やしても今より上げるべきだ (この場合、1よりは小さい負担となる)	個人の負担(税など)を増やしても今と同じくらいがよい (この場合、2よりも小さい負担となる)	どちらかといえば今より下げるべきだ	今より下げるべきだ	わからない

問5 仮に医療保険の給付費総額を抑える場合、採用される方法について適当と考えるものはどれでしょうか。それぞれについて、あなたのお考えに合う番号（「1」から「5」のいずれか）に○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

	賛成	賛成 どちらか といえ ば	反対 どちらか といえ ば	反対	わからない
① 窓口負担額の引き上げ	1	2	3	4	5
② 高額所得者に対する窓口負担額の引き上げ	1	2	3	4	5
③ 医療機関への支払い単価（診療報酬）の引き下げ	1	2	3	4	5